

平成24年5月30日

平成23年(フ)第17300号  
破産者 株式会社安愚楽牧場

## 債権者集会資料

破産管財人 弁護士 渡 邊 顯

### 第1 本日の資料

- 1, 報告事項
- 2, 財産目録
- 3, 収支計算書

## 第2 報告事項

### 1. 民事再生手続開始申立てから破産手続への移行の経緯

株式会社安愚楽牧場（以下、「会社」という。）は、牛肉輸入自由化、BSE、口蹄疫など畜産事業にとって厳しい経営環境が重なる中、原発事故による出荷価格の大幅下落やオーナーからの解約申出の急増により、資金繰りが急速に悪化したとして、平成23年8月9日に民事再生手続開始の申立て、同年9月6日に民事再生手続開始決定を受け、当職が監督委員に選任された。

当初は、当時の経営者が手続を遂行する、いわゆるDIP型の方法で手続が進められていたが、5000人余りの債権者から管理命令の申立てがあり、また会社からも管理命令を相当とする上申書が提出されたため、同年11月4日に管理命令が発令され、当職が管財人に選任された。

これを受けて、当職が管財人として会社の当時の状況を詳細に確認したところ、以下のとおり、民事再生手続を維持することは困難であると判断したため、同月8日東京地方裁判所に対して民事再生手続の廃止を求め、同日、同庁より、民事再生手続廃止決定がなされるとともに保全管理命令が発令され、その後、同年12月9日に破産手続開始決定が出され、当職が破産管財人に就任した。

### 2. 民事再生手続を廃止すべきと判断した理由

#### (1) 民事再生手続中の会社の状況

##### ア 資金繰りの悪化

平成23年11月4日管理命令発令の時点では、手許資金は4億数千万円しかなく、他方で牛はいまだ約13万頭を保有している状況にあった。2週間後には資金が枯渇し、日本国内の10パーセント近くに相当する黒毛和種牛を餓死させ、しかもこれらの牛を処理することもできないという差し迫った危機的状況にあった。

##### イ 飼育環境の悪化

複数の預託農家から飼育委託契約の解約の申入れを受けたため、預託していた保

有牛を自社牧場で引き受けなければならなくなったことや、申立後も毎月約3千から4千頭の子牛の分娩がなされていたことで、北海道など特定の牧場では、異常な過密状態となり、また、餌や薬も十分に与えることができなくなっていたため、死亡する牛の数が倍増した。

#### ウ 従業員の退職者の増加による事業継続の困難

退職者が増加し、いくつかの牧場では従業員数が半減したため、日常必要な業務を十分行うことができなくなり、一層飼育環境の悪化を招くこととなっていた。また、残った従業員にも、先行きの不透明感から士気の低下が見られ、更に退職者が増加すれば、飼育事業を継続することが困難となる状況にあった。

#### (2) 差し迫った危機的状況の回避

このような差し迫った危機的状況が明らかとなり、当職としては、事業譲渡を含め、機動的かつ柔軟に資産処分を行うことができる破産手続の中で清算手続を進める方が、債権者をはじめとする関係者の利益に資するものと考え、「決議に付するに足りる再生計画案の作成の見込みがないことが明らかになったとき」（民事再生法 191 条 1 号）に該当するものとして、民事再生手続を廃止すべきと判断したものである。

### 3. 民事再生手続廃止決定後の管財人の職務の概要

#### (1) 牛及び牧場事業の処分

民事再生手続廃止決定後、上記の危機的状況を脱するため、当職は、会社所有の牛及び牧場の売却を最優先させ、一部の牛や牧場のみ高額で売れ、他の牛や牧場が売却できないという事態を避けるべく、原発被害の地域も含め、できるだけ早期に、かつ大量に購入する意向を示す先に優先的に売却する方針で販売活動を行った。また、従業員の雇用継続及び会社の労働債務負担の軽減の観点から、牧場にいる牛、施設及び従業員を一体として移行できる事業譲渡の方法をとった。

その結果、廃止決定日（平成 23 年 11 月 8 日）から破産手続開始決定日（12 月 9 日）までの約 1 か月の間に、会社の所有する牛及び牧場事業のほぼすべてを売却処分

し、売却未了の牛や牧場の処分方針についても目途をつけ、財団からの資金流出を抑えるとともに、財団の確保を図った。

(2) その他の財産処分

当職は、会社が所有する本社等の牧場以外の不動産の売却先を並行して探索したところ、従業員の継続雇用を前提に会社及び関連会社の事業を含めて引き受けてもよいという先が唯一見つかったため、価格についても交渉を行い、これらの不動産等の売却を行った。

4. 破産手続開始決定後の主な管財業務について

(1) 業務の概要

- ① 7万人を超える破産債権届出対応
- ② 各地における預託農家との契約関係の処理と牛の売却、売却牛の登録変更等の各種対応
- ③ 警察の捜査への協力
- ④ 会社の広告を担当した広告代理店等に対する返還請求
- ⑤ 東京電力の原発事故に伴う損害賠償請求
- ⑥ 各種税務申告手続の対応と消費税還付請求の検討
- ⑦ 関連会社の調査と破産申立等

(2) 業務の結果

破産手続開始決定時点の財産目録及び管財人の活動の結果としての収支計算書は、別紙添付の通りである。

以上

## 財 産 目 録

(開始決定日=平成23年12月9日現在)  
 (単位:円)

### 資産の部

番号	科目	明細	簿価	評価額	備考
1	現金		6,746,678	6,746,678	手許現金
2	預金		801,766,942	799,278,305	金融機関数45、口座数30、相殺2,483,637円
3	売却金		318,380,116	318,380,116	出荷売却金196,764,214円、食品等売却金121,615,902円、金額財団組入
4	仕掛品(牛)		105,000,000	105,000,000	財団組入
5	預け金		889	889	財団組入
6	立替金		757,578	757,578	財団組入
7	未収入金	株 Y S 商事	1,000,967,739	1,000,967,739	財団組入
		安愚楽宮崎	724,664,915	0	相殺
		安愚楽牧場	476,130,730	0	簿価の内42,000,000円は相殺、破産申立予定
		安愚楽の里	257,108,462	0	破産手続中
		安愚楽東日本	194,399,238	0	簿価の内183,126,376円は相殺、破産手続中
		安愚楽西日本	124,347,476	0	破産手続中
		安愚楽北霧島	119,390,819	0	簿価の内74,825,250円は相殺、破産申立予定
		安愚楽エフ	77,761	77,761	財団組入予定
		三ヶ尻 順子	50,000,000	50,000,000	財団組入
		三ヶ尻 久美子	9,204,010	0	破産手続中
		三ヶ尻 真一郎	902,542	-	交渉予定
		三ヶ尻 倫史	634,992	-	交渉予定
		株形本本店	35,450,000	35,450,000	財団組入
		株ジェーシービー	86,815	86,815	財団組入
		株宗谷神牧場	795,600	795,600	財団組入予定
		その他	970,000	870,000	評価額は財団組入
		平成23年12月10日以降の入金額	1,495,194,436	1,495,194,436	補填金・補助金等1,255,241,325円
8	仮私金		6,321,771	6,321,771	財団組入
9	有形固定資産	足寄牧場(北海道足寄郡足寄町茂喜登牛)	1,528,625	208,724,500	簿価は固定資産税評価額、評価額は財団組入額
		マンション(横浜市青葉区桜台40-1-96)	2,374,190	-	簿価は固定資産税評価額、評価額は調査中
		マンション(横浜市神奈川区鶴屋町二丁目9番5号)	113,404	-	簿価は固定資産税評価額、評価額は調査中
		マンション(那須塩原市大原間前表143番7)	7,494,618	-	簿価は固定資産税評価額、評価額は調査中
		ハイム安愚楽(山形県東置賜郡川西町大字玉庭字苗台6973番6)	2,000,000	0	簿価は預り金額、評価額は売却困難のためゼロ
		その他	6,881,805	0	簿価は固定資産税評価額、評価額は売却困難のためゼロ

10	株式	網レストラン安愚楽北霧島	19,600,000	0	破産手続中
		栃木テレビ	10,000,000	-	調査中
		網アグワ	1,000,000	0	休眠会社
		(有)安愚楽の里	5,000,000	0	破産手続中
		(有)安愚楽宮崎	3,000,000	0	破産手続中
		(有)パンナ牧場	3,000,000	0	破産申立予定
		侗安愚楽真日本	3,000,000	0	破産手続中
		侗安愚楽西日本	3,000,000	0	破産申立予定
11	出資金	朝北きりしまリゾート牧場	15,400,000	0	無償譲渡(予定)
		足寄町農業協同組合	9,000,000	0	相殺
		音更町農業協同組合	2,578,000	997,246	1,580,754円は相殺、相殺後残高997,246円は財団組入
		那須野農業協同組合	1,056,000	-	交渉予定
		こばやし農業協同組合	450,000	0	相殺予定
		尾鈴農業協同組合	308,400	-	交渉予定
		横食肉売参事業協同組合	130,000	-	交渉予定
		いわい東農業協同組合	102,000	0	相殺予定
		大田原信用金庫	50,000	50,000	財団組入
12	貸付金	侗安愚楽の里	2,066,031,549	35,000,000	破産手続中
		侗安愚楽クリエティブード	82,298,000	0	休眠会社
		侗安愚楽宮崎	2,958,769,463	0	簿価の内19,712,971円は相殺、破産手続中
		侗安愚楽西日本	1,068,403,215	0	破産申立予定
		侗安愚楽東日本	874,849,272	0	破産手続中
		網レストラン安愚楽北霧島	616,857,988	0	破産手続中
		侗ニーズ食品	14,272,617	-	交渉予定
		侗パンナ牧場	1,144,900	0	破産申立予定
		住友淳郎	15,000,000	-	交渉予定
		三ヶ尻 眞一郎	6,443,451	-	交渉予定
		三ヶ尻 哲	2,219,283	-	交渉予定
		斉藤元一	2,000,000	-	交渉予定
		増淵 進	1,000,000	0	破産手続中
13	差入保証金	全農岩手県本部	400,000,000	0	相殺見込み
		足寄町農業協同組合	13,000,000	0	相殺
		岩佐鉄工所(株)	9,462,952	0	相殺
		網下野ビル	7,953,540	0	相殺
		その他	535,000	0	倒産等のため回収困難
		資産合計	13,916,607,781	4,059,699,434	

負債の部

番号	科目	明細	届出額	評価額	備考
1	財団債権	公租公課	932,512,610	47,430,624	評価額との差額885,081,986円は支払済み
		労働債権	447,422,804	0	全額支払済み
		その他	352,853,381	0	全額支払済み
2	優先的破産債権	労働債権	142,402,010		
3	普通破産債権	オーナー債権者	419,157,488,826		平成24年5月2日時点
		その他債権者	5,449,570,517		平成24年5月2日時点
		負債合計	426,482,250,148	47,430,624	

平成23年(フ)第17300号

破産者 株式会社安愚楽牧場

破産管財人弁護士 渡邊 顯

## 収 支 計 算 書

(期間 平成23年12月9日～平成24年4月30日)

### 収入の部

(単位：円)

番号	科 目	金 額 (円)	備 考
1	現金	6,746,678	
2	預金	799,278,305	金融機関数：45、口座数：80
3	売掛金	318,380,116	出荷売掛金196,764,214円、食品等売掛金121,615,902円
4	仕掛品(牛)	105,000,000	
5	預け金	889	
6	立替金	757,578	
7	未収入金	1,087,374,555	牛及び牧場代金1,037,167,739円、その他未収入金50,206,816円
8	補填金・補助金等	1,255,241,325	肉用牛肥育経営安定特別対策事業(通称マルキン)補填金1,195,437,000円
9	仮払金	6,321,771	
10	税金還付金	151,603	
11	不動産等売却	203,724,500	足寄牧場
12	出資金	1,047,246	
13	貸付金	35,000,000	
14	出向料	180,153,571	
15	民事再生申立予納金	23,440,079	
16	保険解約返戻金	15,847,227	
17	預託料	3,737,355	
18	東電賠償金	1,429,382	
19	賃料収入	620,691	
20	預り金	10,503,104	平成24年5月30日時点精算済
21	受取利息	81,745	
22	雑収入	3,988,354	
	収入総合計	4,058,826,074	

### 支出の部

番号	科 目	金 額 (円)	備 考
1	公租公課(財団債権)	885,081,986	
2	労働債権(財団債権)	447,422,804	給与213,963,511円、退職金233,459,293円
3	履行補助者費用	69,542,811	
4	管財人事務所賃料・管理費用	17,694,586	
5	不動産管理費用	464,150	
6	原状回復費用(廃棄費用を含む)	2,577,547	
7	肉用牛肥育経営安定特別対策事業(通称マルキン)積立金	129,323,270	
8	牛飼育・販売費用(別除権受戻のための費用を含む)	101,389,901	粗飼料費、濃厚飼料費、衛生費、燃料費、預託費等
9	会計士・税理士等報酬	12,600,000	
10	破産申立予納金(関連会社)	15,000,000	
11	立替金	9,300,079	平成24年5月30日時点精算済
12	委託費	7,736,824	
13	水道光熱費	3,325,731	
14	旅費交通費	3,063,731	
15	事務経費	6,852,537	
16	賃借料	1,259,969	
17	預り金	1,097,350	
18	雑費	166,385	
	支出総合計	1,713,899,661	
	差引残高	2,344,926,413	